

聖光学院
光教 聖元

関さん遺稿集出版へ 文芸コン入選作など収録

聖光学院中学校・高校(横浜市中区、工藤誠一校長)の元教諭で、昨年10月に79歳で亡くなった関脩さんの遺稿集「邂逅の妙を思いて」が19日、出版される。神奈川県新聞文芸コンクール入選作「ザルツブルクの霧」(1976年)や未発表作品6編などを収録している。

時から18年間、国語教諭を務め、同校からの風光をテーマとした校歌を作詞した。小説や随筆などでも活躍、日本ペンクラブの会員でもあった。

遺稿集は、関さんの教え子だった1期生から11期生までの7人が昨年、刊行委員会を発足し、多くの原稿の中から選んだ。関さんの油彩画やスナップ写真も掲載、有志から追悼文も寄せられ、一周忌の節目に完成にこぎ着けた。

刊行委メンバーの工藤校長(56)は「校歌を作った思



関脩さん
(遺稿集より)



出版される「邂逅の妙を思いて」と工藤校長

いや、ひたむきに生きる。とが大切だという関さんの人生観、社会観を読み取ってもらえたら」と話している。

A5判304頁、2千円。
問い合わせは、同校☎045(621)2051。